

スタートに着く

4月はスタートの季節。年度初めに敬愛学園高のスタートに着く思いは1年生・2年生・3年生で、異なります。学習、部活動、H・R活動等を楽しむために準備と努力と工夫をしましように。▼人生は楽しくなければ人生ではないと考えます。誰もが楽しい毎日を送りたいと考えています。苦あれば楽あり。楽しい毎日にするために、時には「苦」を乗り越えなければなりません。▼「苦」を乗り越えたら先にしか本物の「楽」はありません。仲間と一緒に苦楽をともにすれば、楽しみや喜びは人数分増えます。▼第1学期の始業式で

少し触れましたが、2百万部のベストセラー『置かれた場所で咲きなさい』（渡辺和子）の題名は意味深長です。▼皆さんは、数多の高校の中から敬愛学園高を選んで入学してきました。▼置かれた場所の敬愛学園高で、一人一人が夢や希望の花を咲かせて欲しいものです。▼花が咲くためには、土を耕し、種を蒔き、芽が出たら、水をやり、草取りをし、花が咲けば実が付くまで見守り育てます。教職員は生徒が実をつける（進路実現）まで丁寧な指導を続けます。▼卒業時には、進路実現という「実」つけて、敬愛学園高を巣立っていったください。そのためには、用意された本校の諸活動に一所懸命最後まで取り組み込むことが肝要です。

- ◎4月の言葉
- ひとつ拾えば、ひとつきれいになる。
- 学んで時に之れを習ふ、亦説ばしからずや。
- あるがままに生きる。
- ないがままに生きる。
- *使える大和言葉
- ①今夜は三五月です。
- ②月籠もりなので忙しい
- ③仕事づけの日並みです
- ④しめじめと雨が降る。
- ⑤思ひの色のスカーフ
- ⑥花の色が移るふ
- ⑦人は旧り行くものです
- (意味)
- ①3×5=15 満月・名月
- ②つきごもり。月末
- ③毎日、毎日する
- ④しとしと、しんみりと
- ⑤緋色、深紅色
- ⑥色があせる、さめる
- ⑦ふりゆく。老いていく